

高知県感染症発生動向調査（週報）

2025年 第29週 （7月14日～7月20日）

★県内での感染症発生状況

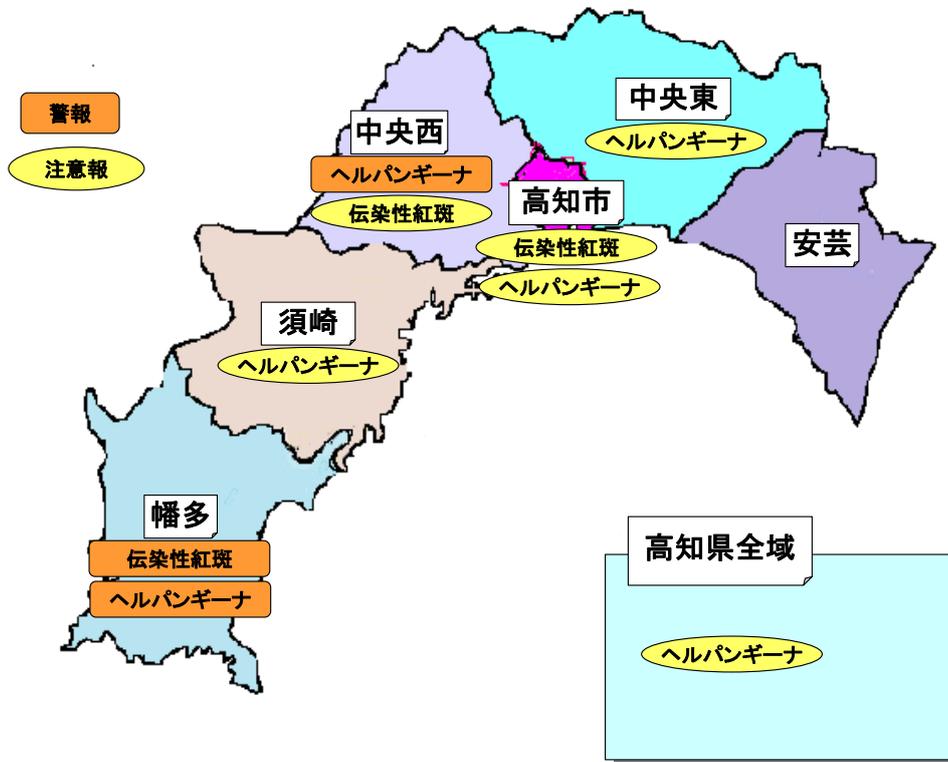
急性呼吸器感染症及び小児科定点把握感染症（上位5疾患）

疾病名	推移	定点当たり報告数	保健所管内別の傾向
ヘルパンギーナ	➡	5.70	中央西で増加していますが、安芸で急減、中央東で減少しています。
新型コロナウイルス感染症	➡	3.11	中央西、高知市、須崎、中央東で増加していますが、安芸で急減しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	2.10	幡多で急増、中央西で増加していますが、中央東、須崎で急減しています。
感染性胃腸炎	↘	1.95	須崎で増加していますが、安芸で急減、幡多、中央東で減少しています。
伝染性紅斑	↗	0.90	中央西、中央東で急増しています。

<推移の基準>

急増	↑	前週と比較し、2倍以上の場合	減少	↘	前週と比較し、0.5倍以上～0.8倍未満の場合
増加	↗	前週と比較し、1.2倍以上～2倍未満の場合	急減	↓	前週と比較し、0.5倍未満の場合
横ばい	➡	前週と比較し、0.8倍以上～1.2倍未満の場合			

★地域別警報・注意報状況



★週報の発行日

週報は、毎週「木曜日」の午後3時30分以降に発行します。

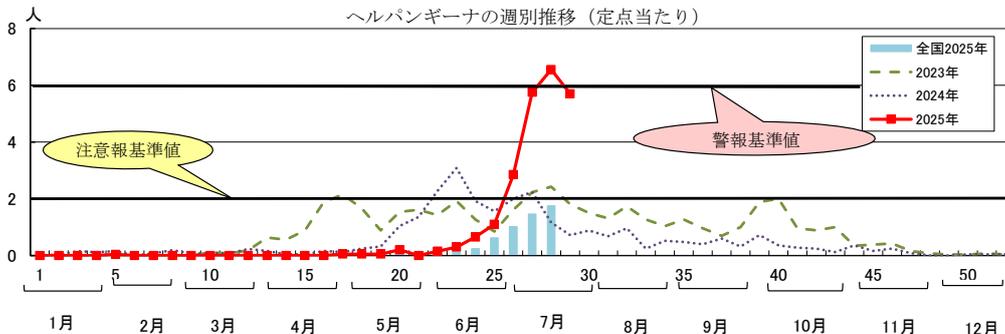
ただし、「火曜日」「水曜日」「木曜日」が祝日の場合は、「金曜日」になります。

★気になる感染症

ヘルパンギーナ

ヘルパンギーナは、発熱と口腔粘膜に形成される水疱性の発疹を主症状としたいわゆる「夏かぜ」の代表的疾患です。2～4日の潜伏期の後、突然の高熱、咽頭痛や咽頭発赤が現れます。口腔内の痛みがあり食事がとり難いため、柔らかく、薄味の食事を工夫し、水分補給を心掛けましょう。

県内の病原体検出情報では、コクサッキーウイルスA4が1件検出されています。ヘルパンギーナの原因ウイルスであるエンテロウイルスは、回復後も便中から検出されることもあるため、この病気にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。



●予防方法

- *手洗いが大切です。流水と石けんでよく手を洗いましょう。
- *タオル・コップ等は共用を避け、感染者との密接な接触はさけるようにしましょう。
- *回復後も2～4週間の長期にわたり便からウイルスが検出されることがあるので、特に、外出後、食事の前、トイレの後に手洗いをしましょう。

●学校感染症

ヘルパンギーナ：学校保健安全法（同法施行規則第19条）では欠席者が多くなり、授業などに支障をきたしそうな場合など、「学校長が学校医と相談をして第3種学校感染症としての扱いをすることがあり得る病気」となっています。

百日咳

高知県の過去の報告数と比較すると多い状態が続いています。現在1,028件（2025年1月1日から7月23日までの累計速報値）となっており、全ての年齢層からの報告がみられます。

また、2025年4月から6月に収集した百日咳患者の60検体のうち17検体(28%)から、治療薬であるマクロライド系抗菌剤に耐性を示す百日咳菌が検出されました。

年間報告数

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
高知県	173	172	33	3	9	7	5	1,028
全国	12,115	16,845	2,819	707	491	1,000	4,093	43,728

年齢別・保健所管内別報告数

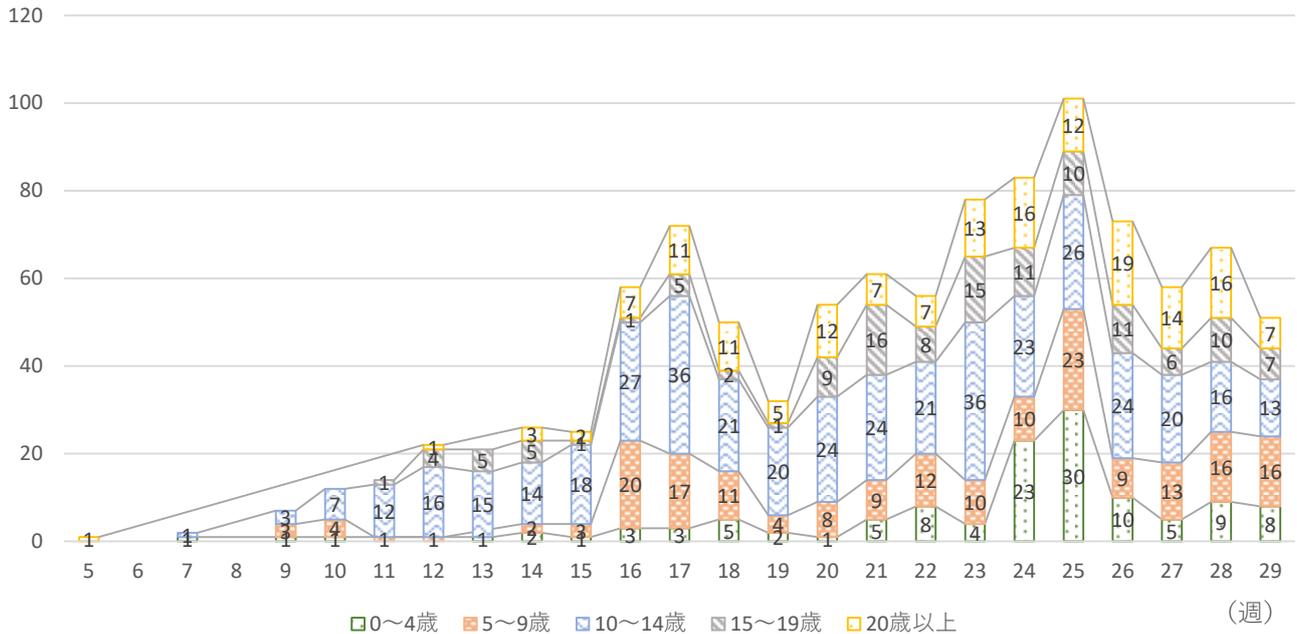
(受理週で集計)

保健所	年齢					総計
	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上	
安芸	0	0	6	1	0	7
中央東	1	9	27	11	9	57
高知市	34	130	285	87	123	659
中央西	1	4	13	9	6	33
須崎	2	26	53	7	4	92
幡多	85	24	34	14	23	180
総計	123	193	418	129	165	1,028

(受理週で集計)

(人)

2025年 高知県百日咳報告数（週別年齢別）



症状

- ① 通常7～10日の潜伏期を経て、通常の風邪症状となり、次第に咳の回数が増え、程度も激しくなります（カタル期）。
- ② 短い咳が連続的に起こり（スタッカート）、続いて息を吸う時に笛の音のようなヒューという音が出ます（ウープ）。この様な咳嗽発作が繰り返すことをレプリーゼといい、しばしば嘔吐を伴います（痙咳期）。
- ③ 激しい発作は次第に減衰し、2～3週間で認められなくなりますが、その後、時折発作性の咳が出て、全経過約2～3ヶ月で回復します（回復期）。

感染力が強く、咳やくしゃみなどによる飛沫や接触により感染します。乳児の場合、無呼吸発作など重篤になることがあり、生後6か月未満では死に至る危険性がある疾患です。成人では、咳は長期間続きますが、比較的軽い症状で経過することが多く、受診・診断が遅れることがあります。患者や百日咳にかかったと気づかない大人から、重症化しやすいワクチン未接種の新生児や乳児へ感染することもあるので注意してください。

●予防方法

- * 人混みはなるべくさけ、外出時にはマスクを着用しましょう。帰宅時には、手洗いを励行しましょう。
- * 定期予防接種があります。ワクチンは生後2ヶ月から接種可能なので、かかりつけ医と相談し、出来るだけ早く受けておくことをお勧めします。

●学校感染症

百日咳は、学校保健安全法（同法施行規則第18・19条）では、学校感染症（第2種）に位置づけられており、「特有の咳が消失するまで又は5日間の適切な抗菌薬療法が終了するまで出席停止」とされています。ただし、病状により感染の恐れがないと認められたときはこの限りではありません。

●参考

- * 百日咳（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/whooping_cough.html

ダニの感染症(SFTS・日本紅斑熱)

第29週は中央西保健所管内から「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」1件の報告がありました。

県内のSFTS（重症熱性血小板減少症候群）や日本紅斑熱の報告が増加しており、SFTSは2013年の届け出開始以降、最多の報告数となっています。

「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」や「日本紅斑熱」は、屋外に生息する比較的大型（吸血前で3～4mm）の「マダニ」が媒介する感染症です。

マダニは、春から秋にかけて活動が活発になります。この時期は、人も農作業やレジャーなど野外での活動が多くなることから、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります。（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。

また、ネコやイヌなどの動物が感染、発症した場合、その血液や唾液などの体液に直接触れることで感染する可能性があります。ペットの健康状態の変化に注意し、体調不良の際には、咬まれたり舐められたりしないように注意してください。必要な場合は動物病院を受診しましょう。また、ペットがマダニに咬まれないようダニ駆除剤を使用することも有効です。獣医師に相談しましょう。

●予防方法

- *マダニに「咬まれないようにする」ことが予防策になります。
- *野山や畑などに出る時には、長袖・長ズボンで肌の露出を避けましょう。
- *忌避剤（虫よけ剤）を効果的に使用しましょう。（説明書の注意書に沿って使用してください。）
- *野外活動後はダニに咬まれていないか確認しましょう。
- *飼っているネコやイヌが外で咬まれることもあります。ブラッシング等をこまめにしてマダニを持ち込まないようにしましょう。
- *体調不良のペットに触れたときは、手洗いを心がけてください。

●発熱等の症状が出た場合

- *野山に入って数日～数週間経過した後、発熱等の症状が出た場合は、医療機関を受診してください。
- *受診の際は、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれた可能性）を伝えてください。

●参考

- *重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関するQ&A（厚生労働省）
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_qa.html
- *高知県衛生環境研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット
<https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2024022700074/>

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
29	不明発疹症	発疹	2	女	須崎	Rhinovirus
29	手足口病	39℃, 発疹	1	男	須崎	Echovirus 18
29	不明発疹症	38℃, 発疹	1	男	須崎	Rhinovirus
29	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	39℃, 咳嗽, 上気道炎	4	男	幡多	Parainfluenza virus 2
29	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	39℃, 咳嗽	1	女	幡多	Parainfluenza virus 3

前週以前の受付

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
27	咽頭結膜熱	40℃, 咳嗽, 上気道炎, 下気道炎	6	女	幡多	Rhinovirus
28	ヘルパンギーナ	39℃	3	男	須崎	Coxsackievirus A4
28	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	38℃, 咳嗽	11	男	幡多	Rhinovirus
28	不明発疹症	発疹	6か月	女	高知市	Echovirus 18 Rhinovirus
28	不明発疹症	発疹	6か月	女	高知市	Echovirus 18 Rhinovirus
27	急性呼吸器感染症 (インフルエンザ様疾患)	40℃, 咳嗽, 上気道炎	3	男	幡多	Rhinovirus
27	急性呼吸器感染症 (インフルエンザ様疾患)	39℃, 咳嗽, 気管支炎	2	男	幡多	Rhinovirus
27	急性呼吸器感染症 (インフルエンザ様疾患)	39℃, 咳嗽, 上気道炎	11か月	女	幡多	Adenovirus 2 Rhinovirus
28	急性呼吸器感染症 (インフルエンザ様疾患)	39℃, 咳嗽	3か月	男	幡多	Rhinovirus
28	急性呼吸器感染症 (インフルエンザ様疾患)	40℃, 咳嗽	1	男	高知市	Influenza virus A H1pdm09

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所		
2 類	結 核	1	30	70 歳代 男性	安 芸		
		1		30 歳代 男性	須 崎		
4 類	重症熱性血小板減少症候群	1	13	70 歳代 男性	中央西		
5 類	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	6	30 歳代 男性	高知市		
	急性脳炎	1	1	10~14 歳 男性	中央東		
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	10	5~9 歳 男性	高知市		
	梅 毒	1	23	70 歳代 男性	須 崎		
	百日咳		1	998	5~9 歳 男性	中央東	
			1		5~9 歳 女性		
			1		10~14 歳 男性		
			1		10~14 歳 女性		
			2		15~19 歳 男性		
			1		0~4 歳 女性		高知市
			4		5~9 歳 男性		
			6		5~9 歳 女性		
			4		10~14 歳 男性		
			7		10~14 歳 女性		
			1		15~19 歳 男性		
			3		15~19 歳 女性		
			2		20 歳代 女性		
			3		30 歳代 男性		
			1		30 歳代 女性		
			3		50 歳代 女性		
			1		5~9 歳 男性	中央西	
			1		5~9 歳 女性		
			1		10~14 歳 男性		
	1	5~9 歳 男性	須 崎				
	4	0~4 歳 男性	幡 多				
	1	0~4 歳 女性					
	1	5~9 歳 女性					
	1	15~19 歳 男性					
	1	30 歳代 男性					
	1	30 歳代 女性					
	1	60 歳代 女性					

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	いちほら内科小児科	ノロウイルス胃腸炎 1 例 (10 か月男) 百日咳 1 例 (17 歳男)
	早明浦病院小児科	溶連菌感染症 1 例
	JA 高知病院小児科	病原性大腸菌 O1 1 例 マイコプラズマ気管支炎 4 例 百日咳 1 例
高知市	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ肺炎 9 例 (6 歳、7 歳 2 人、8 歳、9 歳 3 人、10 歳、12 歳) COVID-19 8 例 インフルエンザ A 型 1 例 RS ウイルス気管支炎 3 例 百日咳 10 例 (6 歳、7 歳、8 歳 2 人、10 歳 2 人、12 歳、14 歳、15 歳 2 人)
	福井小児科・内科・循環器科	溶連菌感染症 8 例 (流行中) 手足口病 6 例 (流行中) ヘルパンギーナ 8 例 (流行中) 伝染性紅斑 5 例 COVID-19 1 例
	ふないキッズクリニック	マイコプラズマ感染症 1 例 (5 歳女) アデノウイルス感染症 1 例 (1 歳男) 百日咳 1 例 (5 歳女)
	細木病院小児科	百日咳 3 例 (3 歳女、9 歳女、11 歳女)、 マイコプラズマ肺炎 4 例 (4 歳女 2 人、6 歳女、8 歳男) マイコプラズマ抗原 (+) 1 例 (8 歳男) RS ウイルス感染症 1 例 咽頭結膜熱 4 例 溶連菌感染症 4 例 感染性胃腸炎 2 例 水疱 1 例 突発性発疹 1 例 COVID-19 1 例
中央西	くぼたこどもクリニック	マイコプラズマ感染症 3 例 (5 歳女、7 歳女、10 歳男) アデノウイルス感染症 1 例 (5 歳女) ヘルパンギーナ 16 例 溶連菌 2 例 Covid-19 1 例
	日高クリニック	マイコプラズマ肺炎 1 例 (15 歳女) マイコプラズマ気管支炎 3 例 (3 歳男、6 歳男、10 歳女) 百日咳 1 例 (14 歳男)
須崎	もりはた小児科	インフルエンザ A 型 3 例 (同一保育園児) マイコプラズマ感染 1 例 (12 歳女) 百日咳 2 例 (2 歳、9 歳 (同じクラス))
幡多	こいけクリニック	百日咳 8 例 (1 歳男、1 歳女 4 人、2 歳男、5 歳男、7 歳女)

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1 高知県保健衛生総合庁舎2階
TEL：088-821-4961 FAX：088-821-4696
※この情報に記載のデータは 2025 年 7 月 22 日現在の情報により作成しています。

★高知県感染症情報 疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報（49定点医療機関）

第29週 令和7年7月14日（月）～令和7年7月20日（日）

高知県衛生環境研究所

定点名 (定点数)	疾病名等	保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(28週)	高知県(29週未累計) R6/12/30～R7/7/20	全国(28週未累計) R6/12/30～R7/7/13
急性呼吸器感染症(38)	急性呼吸器感染症(ARI)*		42	252	717	198	68	209	1,486 (39.11)	1,597 (42.03)	202,794 (52.66)	21,167 (557.03)	2,969,970 (773.03)
	インフルエンザ			5	2		3	19	29 (0.76)	24 (0.63)	956 (0.25)	7,958 (209.42)	619,027 (142.11)
	新型コロナウイルス感染症		3	18	38	15	11	33	118 (3.11)	100 (2.63)	9,263 (2.40)	4,304 (113.26)	396,071 (90.93)
小児科(20)	咽頭結膜熱			2	5		1	1	9 (0.45)	3 (0.15)	1,382 (0.59)	153 (7.65)	29,714 (10.93)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1	29	5		7	42 (2.10)	49 (2.45)	5,410 (2.30)	1,488 (74.40)	174,635 (64.23)
	感染性胃腸炎			2	24	4	4	5	39 (1.95)	50 (2.50)	12,699 (5.39)	2,671 (133.55)	544,722 (200.34)
	水痘				1			1	2 (0.10)	1 (0.05)	1,159 (0.49)	90 (4.50)	26,924 (9.90)
	手足口病				10			4	14 (0.70)	28 (1.40)	1,351 (0.57)	210 (10.50)	10,690 (3.93)
	伝染性紅斑			1	8	2	1	6	18 (0.90)	15 (0.75)	4,847 (2.06)	477 (23.85)	89,957 (33.08)
	突発性発疹				2			1	3 (0.15)	8 (0.40)	867 (0.37)	153 (7.65)	19,730 (7.26)
	ヘルパンギーナ			17	37	22	4	34	114 (5.70)	131 (6.55)	4,114 (1.75)	469 (23.45)	13,692 (5.04)
	流行性耳下腺炎								()	1 (0.05)	169 (0.07)	26 (1.30)	4,068 (1.50)
	RSウイルス感染症				11				11 (0.55)	13 (0.65)	905 (0.38)	448 (22.40)	54,069 (19.89)
眼科(3)	急性出血性結膜炎								()	()	15 (0.02)	()	825 (1.19)
	流行性角結膜炎								()	()	598 (0.86)	26 (8.67)	15,585 (22.52)
基幹(8)	細菌性髄膜炎								()	()	10 (0.02)	2 (0.25)	266 (0.55)
	無菌性髄膜炎								()	()	28 (0.06)	5 (0.63)	424 (0.88)
	マイコプラズマ肺炎			1	8				9 (1.13)	5 (0.63)	438 (0.91)	142 (17.75)	6,378 (13.29)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)								()	()	3 (0.01)	()	59 (0.12)
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)								()	1 (0.13)	7 (0.01)	22 (2.75)	1,708 (3.56)
計 (ARIを除く)		3 (1.00)	47 (10.03)	175 (20.57)	48 (20.25)	24 (8.50)	111 (27.07)	408 (17.60)			44,221	18,644 (631.93)	2,008,544
前週 (ARIを除く)		14 (8.67)	43 (9.79)	192 (22.80)	37 (15.50)	25 (10.25)	118 (29.90)		429 (18.97)				

*ARIの定義：医師が感染症を疑う外来症例で、かつ発症から10日以内の急性症状（咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上）を呈している症例
*ARIの集計法：上記症状の患者を集計するため、インフルエンザやCOVID-19、咽頭結膜熱等の患者と重複している場合があります

注 () は定点当たり人数

高知県感染症情報（49定点医療機関） 定点当たり人数

第29週

定点名 (定点数)	疾病名等	保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(28週)	高知県(29週未累計) R6/12/30～R7/7/20	全国(28週未累計) R6/12/30～R7/7/13
急性呼吸器感染症(38)	急性呼吸器感染症(ARI)*		14.00	36.00	55.15	49.50	17.00	29.86	39.11	42.03	52.66	557.03	773.03
	インフルエンザ			0.71	0.15		0.75	2.71	0.76	0.63	0.25	209.42	142.11
	新型コロナウイルス感染症		1.00	2.57	2.92	3.75	2.75	4.71	3.11	2.63	2.40	113.26	90.93
小児科(20)	咽頭結膜熱			0.50	0.63		0.50	0.33	0.45	0.15	0.59	7.65	10.93
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			0.25	3.63	2.50		2.33	2.10	2.45	2.30	74.40	64.23
	感染性胃腸炎			0.50	3.00	2.00	2.00	1.67	1.95	2.50	5.39	133.55	200.34
	水痘				0.13			0.33	0.10	0.05	0.49	4.50	9.90
	手足口病				1.25			1.33	0.70	1.40	0.57	10.50	3.93
	伝染性紅斑			0.25	1.00	1.00	0.50	2.00	0.90	0.75	2.06	23.85	33.08
	突発性発疹				0.25			0.33	0.15	0.40	0.37	7.65	7.26
	ヘルパンギーナ			4.25	4.63	11.00	2.00	11.33	5.70	6.55	1.75	23.45	5.04
	流行性耳下腺炎									0.05	0.07	1.30	1.50
	RSウイルス感染症				1.38				0.55	0.65	0.38	22.40	19.89
眼科(3)	急性出血性結膜炎										0.02		1.19
	流行性角結膜炎										0.86	8.67	22.52
基幹(8)	細菌性髄膜炎										0.02	0.25	0.55
	無菌性髄膜炎										0.06	0.63	0.88
	マイコプラズマ肺炎			1.00	1.60				1.13	0.63	0.91	17.75	13.29
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)										0.01		0.12
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)									0.13	0.01	2.75	3.56
計 (ARIを除く)		1.00	10.03	20.57	20.25	8.50	27.07	17.60			631.93		
前週 (ARIを除く)		8.67	9.79	22.80	15.50	10.25	29.90		18.97				

*ARIの定義：医師が感染症を疑う外来症例で、かつ発症から10日以内の急性症状（咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上）を呈している症例
*ARIの集計法：上記症状の患者を集計するため、インフルエンザやCOVID-19、咽頭結膜熱等の患者と重複している場合があります

疾病別・年齢別報告数

高知県感染症情報（49定点医療機関）		疾病別・年齢別報告数													2025年		29w					
定点 (定点数)	疾病名等	合計	0歳	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳以上				
急性呼吸器感染症(ARI)* (38)	急性呼吸器感染症(ARI)*	1,486	113	481	326	137	55	40	56	38	39	51	66	84								
急性呼吸器感染症(38)	インフルエンザ	29				2		1	5	9				1	1			2	3	2	1	2
	新型コロナウイルス感染症	118	2	3	2	4	3	2	2		1			6	3	7	9	9	16	14	17	18
小児科(20)	咽頭結膜熱	9		1	5	2	1															
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	42			2	1	2	4	1	9	3	5	3	8								4
	感染性胃腸炎	39		4	7	1	3	2	3	2	3	2	2	7	1							2
	水痘	2								1				1								
	手足口病	14		1	3	2	3	1	1													
	伝染性紅斑	18			1			3	7	3	2	1	1									
	突発性発疹	3			3																	
	ヘルパンギーナ	114		5	35	23	18	11	11	3	2	3		2								1
	流行性耳下腺炎																					
	RSウイルス感染症	11		3	4	2	1		1													
眼科(3)	急性出血性結膜炎																					
	流行性角結膜炎																					
基幹(8)	細菌性髄膜炎																					
	無菌性髄膜炎																					
	マイコプラズマ肺炎	9		1	2	4	2															
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)																					
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																					

*ARIの定義：医師が感染症を疑う外来症例で、かつ発症から10日以内の急性症状（咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上）を呈している症例
 *ARIの集計法：上記症状の患者を集計するため、インフルエンザやCOVID-19、咽頭結膜熱等の患者と重複している場合があります

疾病別年次報告数推移 2025年第29週

(急性呼吸器感染症定点・小児科定点・眼科定点)

